

# 基本図形でかんたんな絵を描こう ～ Illustrator

完成イメージ

POINT

4

POINT

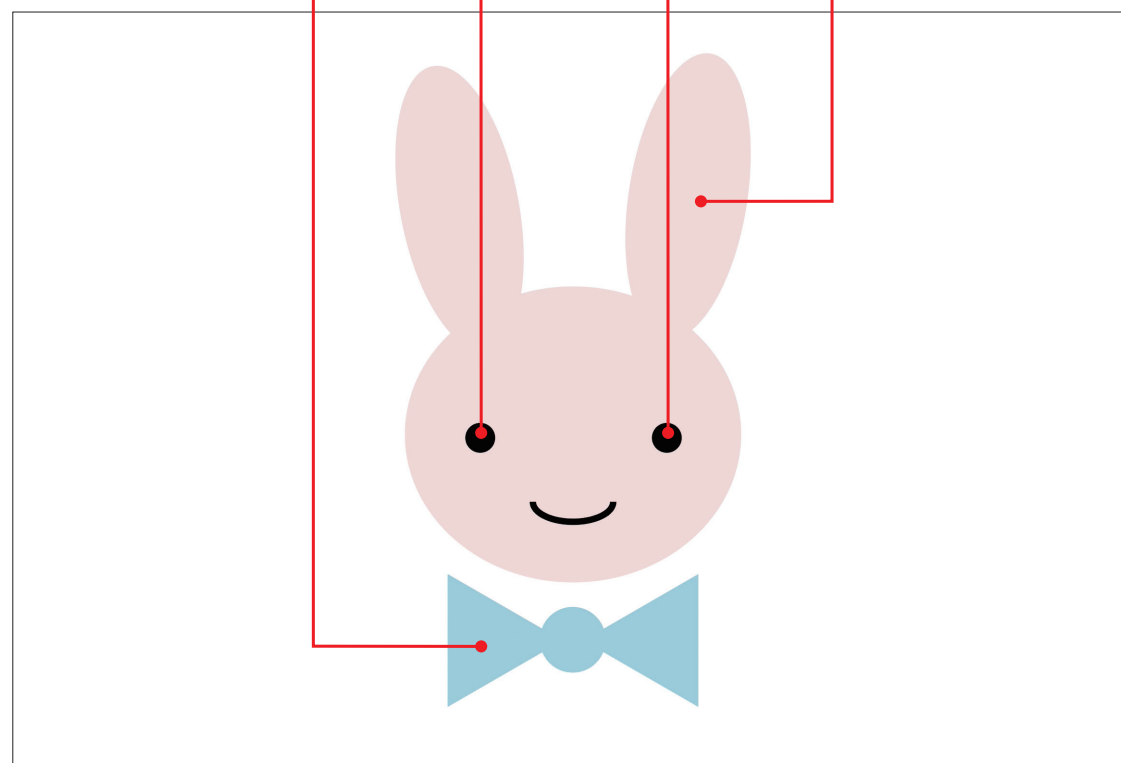
1

POINT

2

POINT

3



## この章のポイント

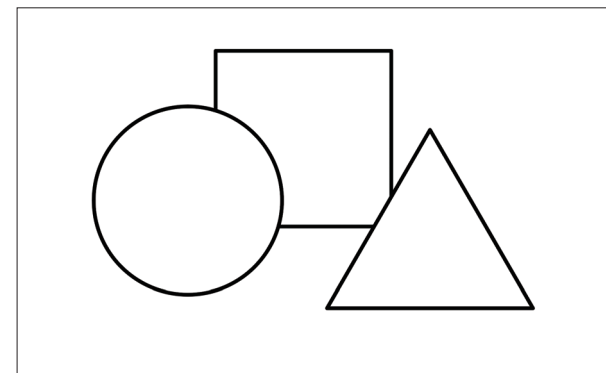
POINT

1

正円や正三角形を描く

→ P.38  
P.44

ツールを選択してドラッグすることで、正円や正三角形を描くことができます。



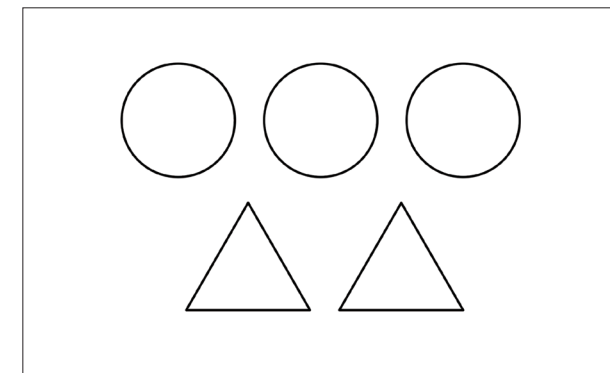
POINT

2

描いた図形を複製する

→ P.48

一度描いた図形をまったく同じ形で複製することで、作業を効率化できます。

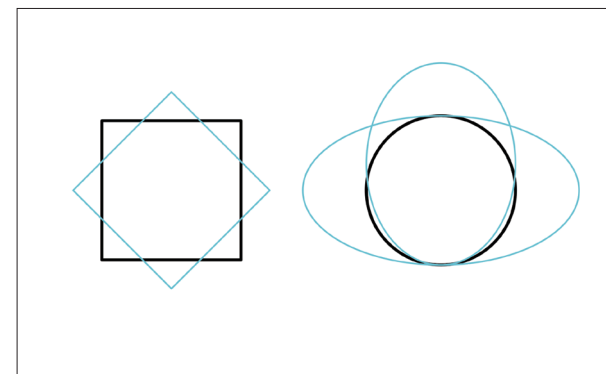


POINT

3

描いた図形を  
拡大／縮小／回転する→ P.42  
P.46

一度描いた図形のサイズを変更したり、回転したりすることができます。



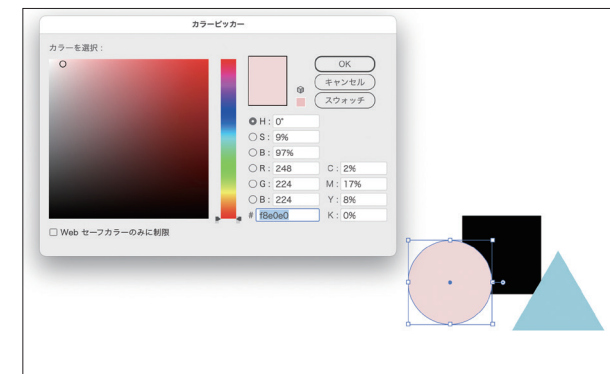
POINT

4

描いた図形の色を  
変更する

→ P.54

図形の塗りや線の色を、自分の好きな色にすることができます。

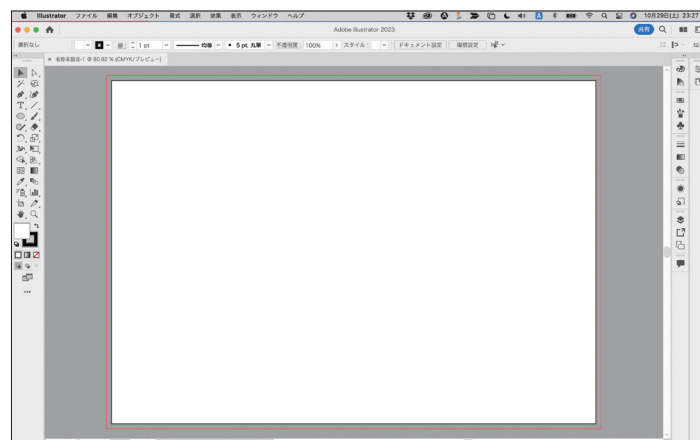


## Lesson 01

## 正円を描こう

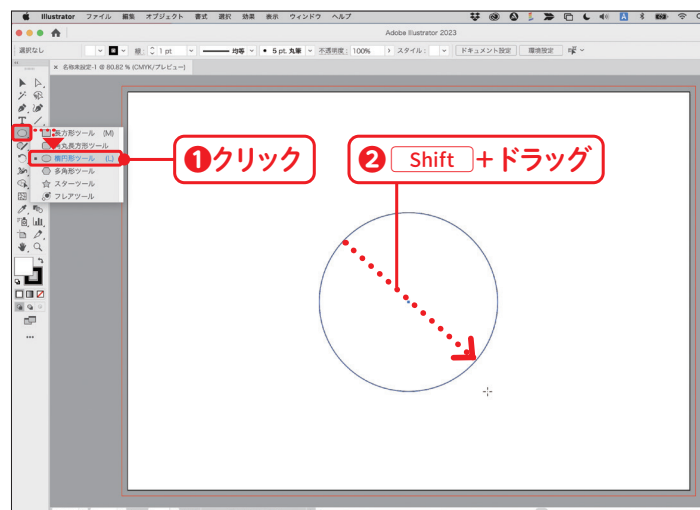
まずは、[楕円形ツール]と **shift** キーを使って、正円を描く練習をします。正円はさまざまなデザインやイラストで利用される基本図形なので、確実に描けるようにしましょう。

練習ファイル (なし) 完成ファイル 0101b.ai



## 1 新規ドキュメントを作成する

P.16を参考に、Illustratorで[印刷]タブから[A4]サイズを選択し、[方向]を「横位置」に設定して、新規ドキュメントを作成します。カラーモードは自動的にCMYKに設定されています。

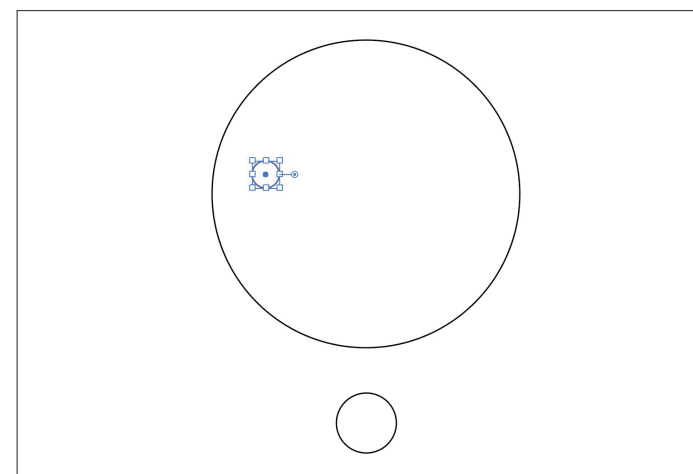
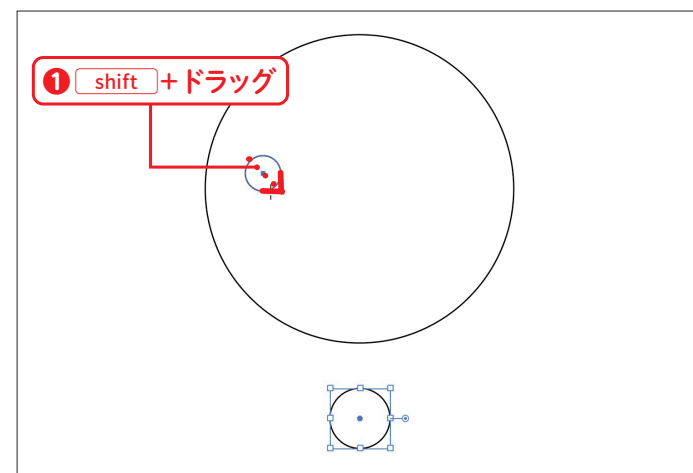
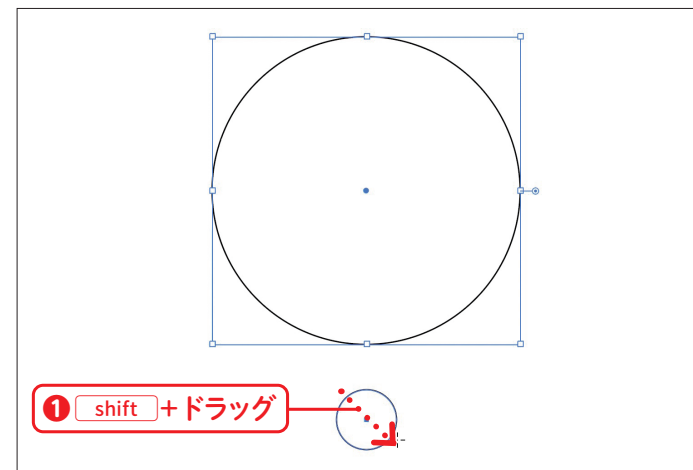


## 2 大きな正円を描く

キャラクターの輪廓になる大きな正円を描いていきます。P.23を参考にツールパネルから[楕円形ツール]をクリックし①、**shift** キーを押しながら、左上から右下にドラッグします②。

## MEMO

ドラッグ操作が完全に終わるまで確実に **shift** キーを押し続けることが、きれいな正円を描くコツです。



## 3 下の方に小さな正円を描く

大きな正円が描けました。続いて、キャラクターの蝶ネクタイの結び目となる小さめの正円を描きます。図を参考に、[楕円形ツール]が選択された状態で **shift** キーを押しながら左上から右下にドラッグします①。

## 4 目を作るための小さな正円を描く

大きな正円の下に小さな正円が描けました。次に、キャラクターの目を作るために、さらに小さな正円を1つ大きな正円の中に描きます。図を参考に、[楕円形ツール]が選択された状態で **shift** キーを押しながら左上から右下にドラッグします①。

## 5 正円が3つ描かれた

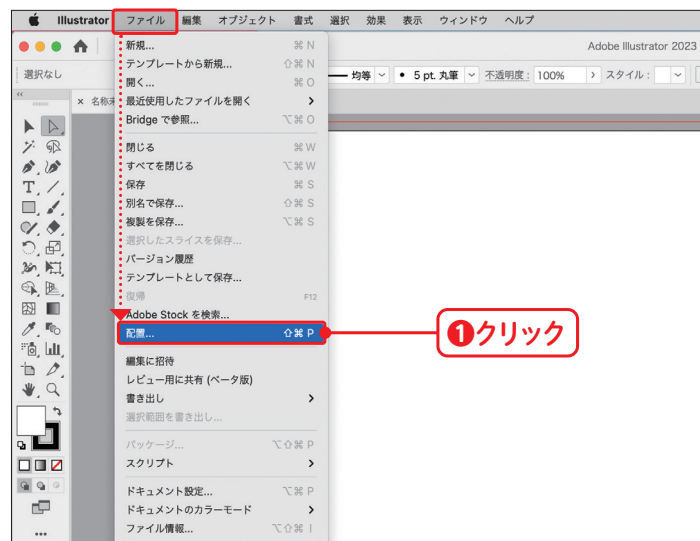
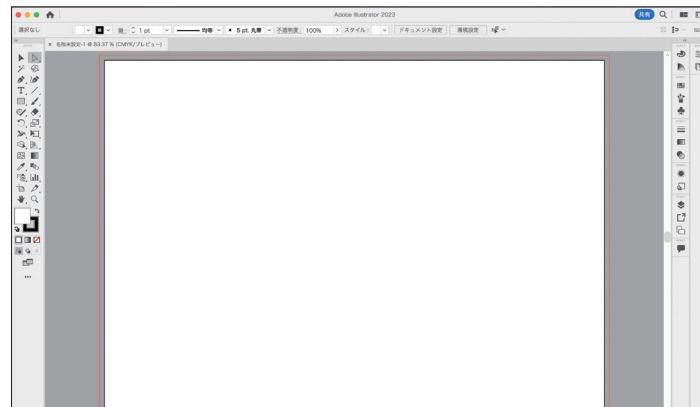
小さな正円を描くことができました。合計で3つの正円が準備できました。

## Lesson 01

## 下絵の写真を用意しよう

ここでは、用意された練習ファイルの下絵写真をIllustratorのドキュメントに配置する方法について学びます。

練習ファイル 0201a.jpg    完成ファイル 0201b.ai



## 1 新規ドキュメントを作成する

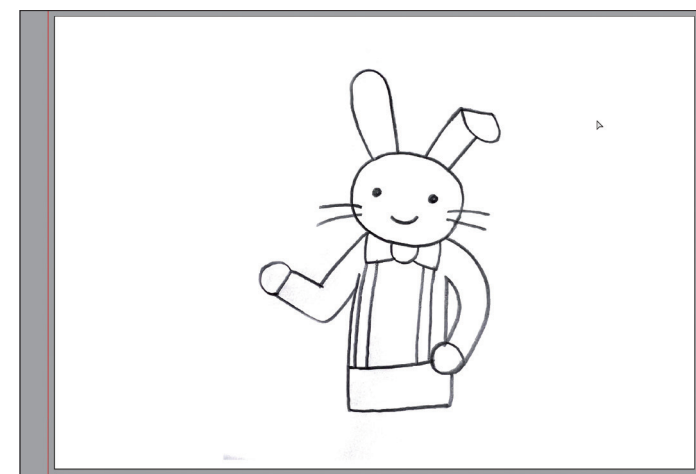
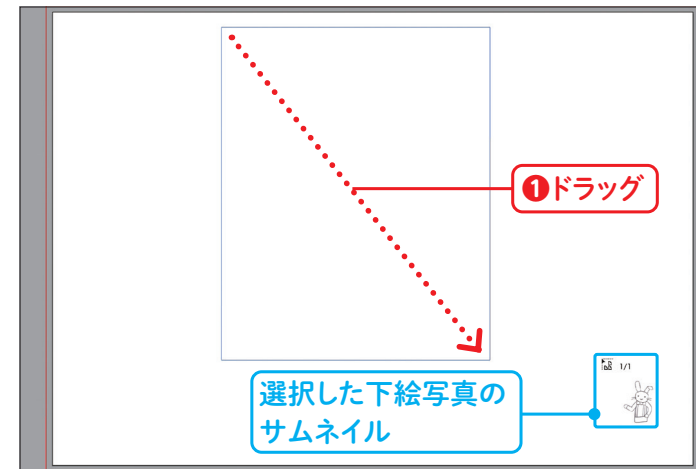
P.16を参考に、Illustratorで[印刷]タブから[A4]サイズを選択し、[方向]を「横位置」に設定して、新規ドキュメントを作成します。

## 2 下絵写真を配置する

あらかじめ用意された練習ファイルの下絵写真をIllustratorに配置していきましょう。[ファイル]メニュー→[配置]の順にクリックします①。

## MEMO

自分で描いた下絵写真を利用したい場合には、スマートフォンやデジタルカメラで写真を撮るか、スキャナーでスキャンしたデジタルデータを用意し、パソコンに取り込んでおきましょう。



## 3 ファイルを選択する

[配置] ダイアログボックスが表示されるので、練習ファイルの[Chap02]フォルダから[0201a.jpg]をクリックし①、画面下のチェックをすべてオフにして②、[配置] ボタンをクリックします③。

## 4 ドラッグして下絵写真を配置する

マウスカーソルの右下に、選択した下絵写真のサムネイルが表示されます。この状態のまま、図を参考に写真の利用サイズを指定するようにマウスをドラッグします①。

## 5 下絵写真が配置された

ドラッグした大きさの通りに下絵写真が配置されました。

## MEMO

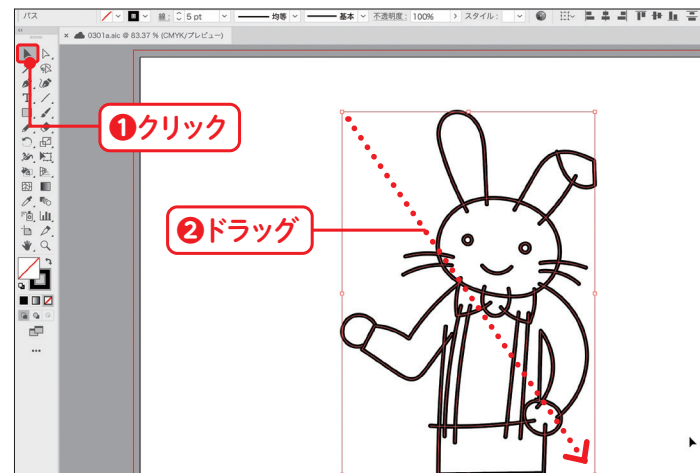
下絵写真の配置が終わったら、P.30を参考にIllustratorのドキュメントを保存しておきましょう。

## Lesson 02

## [ライブペイントツール] を使って着色しよう

次のステップとして、[スウォッチ] パネルに登録された色と[ライブペイントツール]を利用して、イラストに着色していきましょう。

練習ファイル 0302a.ai 完成ファイル 0302b.ai



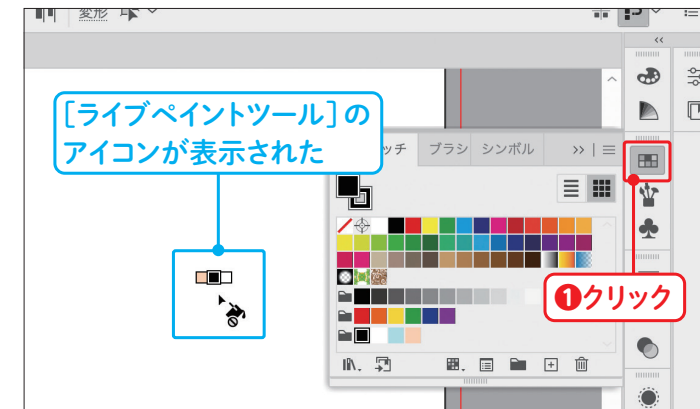
## 1 イラストをすべて選択する

着色する前に、あらかじめ着色したいイラストをすべて選択しておく必要があります。[選択ツール] をクリックし①、イラストをすべて囲むようにドラッグして選択します②。



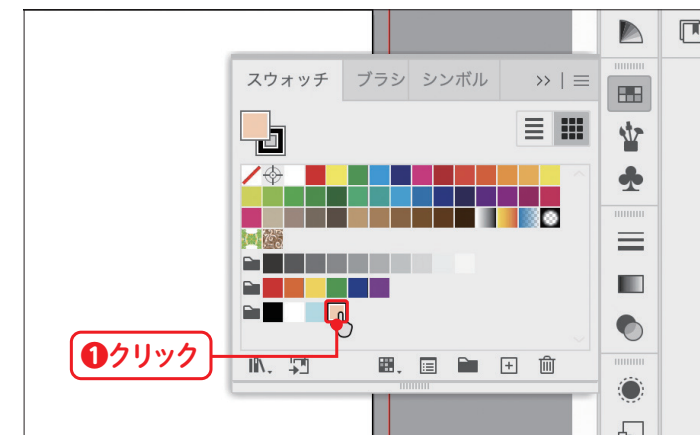
## 2 [ライブペイントツール] をクリックする

ツールパネルの[シェイプ形成ツール] を長押しして①、[ライブペイントツール] をクリックします②。



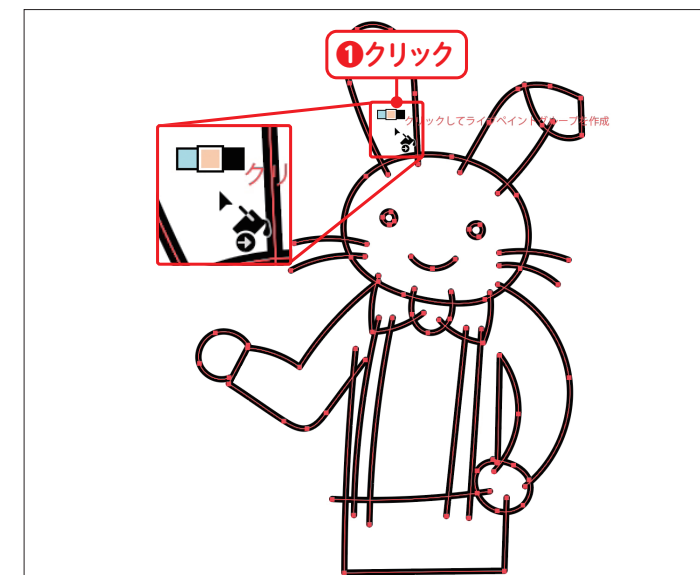
## 3 [スウォッチ] パネルを表示する

[ライブペイントツール] が選択され、[ライブペイントツール]のマウスカーソルが表示されました。着色する色を選択するため、[スウォッチ]パネルのアイコン をクリックしてパネルを表示します①。



## 4 利用する色を選ぶ

P.76で追加したテーマ「うさぎカラー」の中から、オレンジ色の四角形をクリックします①。



## 5 着色する箇所をクリックする

マウスカーソル上にある四角形の中央部分に、選択した色が表示されました。クリックした箇所を着色することができます。まずは、左耳の内側をクリックします①。

## MEMO

[ライブペイントツール] のマウスカーソル上に表示された3つの四角形は、スウォッチパネル内部の色と連動しています。中央の四角形が現在選択している色、左右の四角形はその両隣の色です。

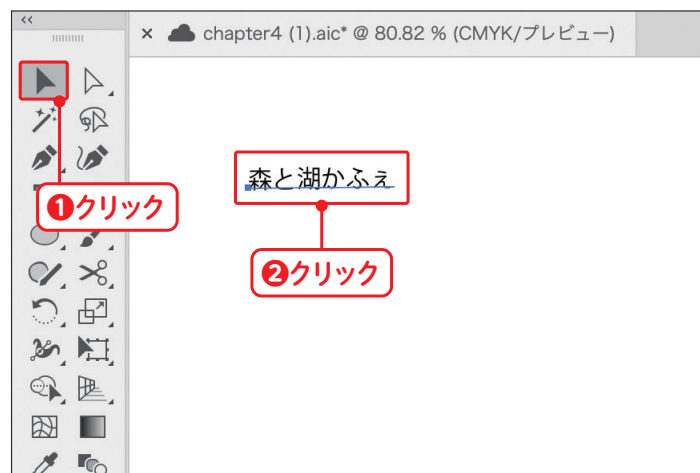


## Lesson 02

# 入力した文字のサイズを変更しよう

ここでは、入力した文字を自分の好きな大きさに変更する方法を学びます。数値を入力して、指定した大きさにすることが可能です。

練習ファイル 0402a.ai 完成ファイル 0402b.ai



## 1 入力された文字列を選択する

[選択ツール] をクリックし①、文字列「森と湖かふえ」をクリックして②、選択された状態にします。



## 2 [プロパティ] パネルを表示する

右側のパネルアイコンから、[プロパティ] パネルのアイコン (パネルが表示されている場合は[プロパティ] タブ) をクリックします①。

## MEMO

[プロパティ] パネルでは、作業状況に応じてさまざまな設定を行うことができます。ここでは、文字関連の設定を行います。



## 3 文字のサイズを48ptにする

[プロパティ] パネルが表示されました。[フォントサイズを設定] 入力欄右側のメニュー をクリックし①、[48pt] をクリックします②。



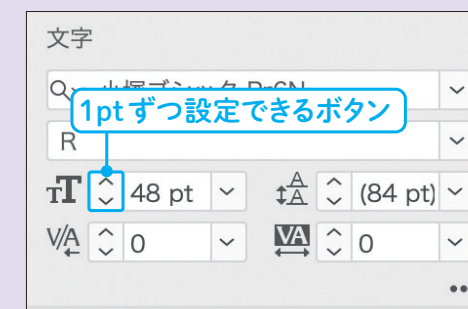
## 4 文字のサイズが48ptになった

文字のサイズが48ptになりました。

## CHECK

### 文字サイズは1ptずつ自由な大きさに設定することも可能

[プロパティ] パネルの[フォントサイズを設定] 入力欄の左側には上向きと下向きのボタン がありますが、これらをクリックすることで1ptずつ文字サイズを変更することが可能です。なお、[印刷] の設定でドキュメントを作成した場合、文字サイズの単位は自動的に「pt (ポイント)」になります。

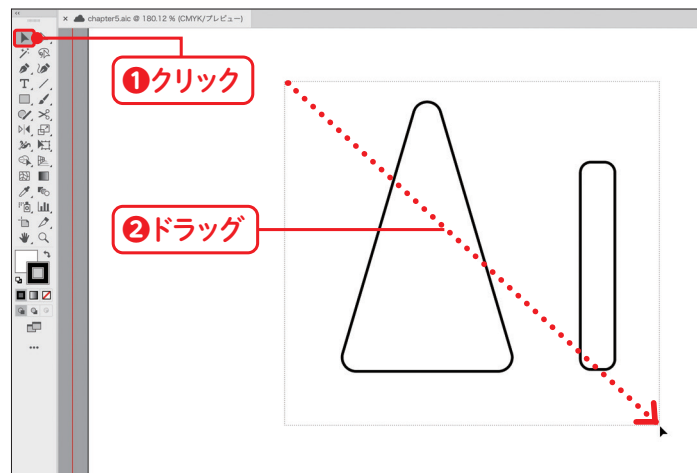


## Lesson 03

## 2つの図形を整列させよう

ここでは、2つの図形を整列する方法について学びます。二等辺三角形と長方形を整列させて、杉の木を描いていきます。

練習ファイル 0503a.ai 完成ファイル 0503b.ai

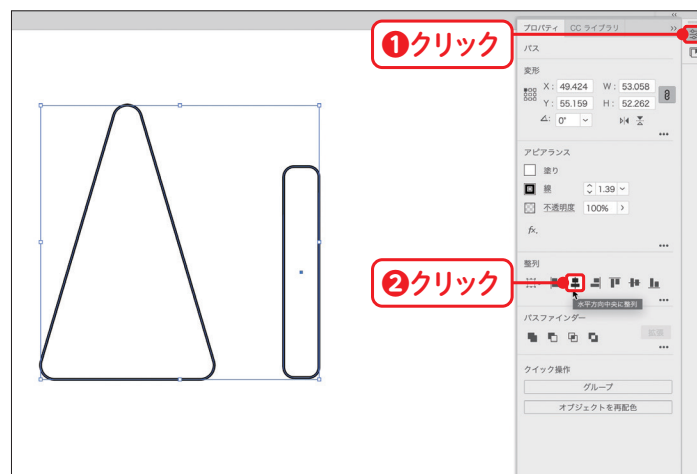


## 1 2つの図形をまとめて選択する

[選択ツール] をクリックし①、2つの図形を囲むようにドラッグして選択します②。

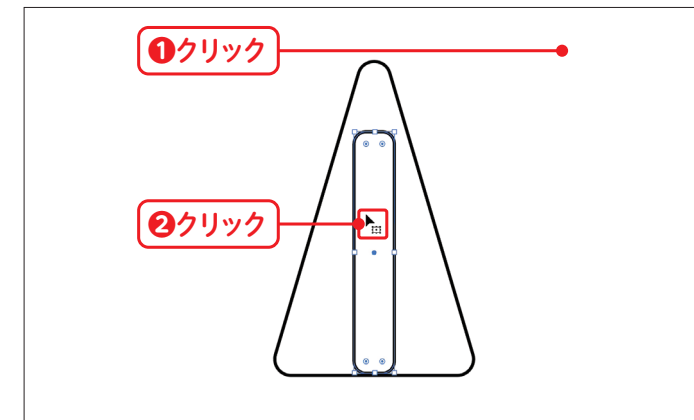
## MEMO

図形を整列させるには、あらかじめ整列させたい図形をすべて選択しておく必要があります。



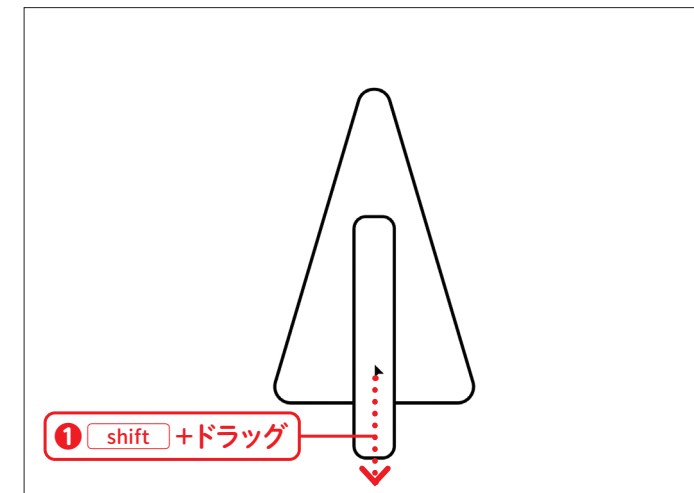
## 2 [水平方向中央に整列] ボタンをクリックする

2つの図形が選択されたままの状態、[プロパティ]パネルのアイコン (パネルが開いている場合は[プロパティ]タブ)をクリックして表示します①。[整列]セクション左から2番目の[水平方向中央に整列]ボタン をクリックします②。



## 3 [選択ツール] で長方形をクリックする

2つの図形が、水平方向中央の位置で揃いました。長方形の位置を調節したいので、[選択ツール] で何もない箇所をクリックしてから①、長方形だけをクリックして選択します②。

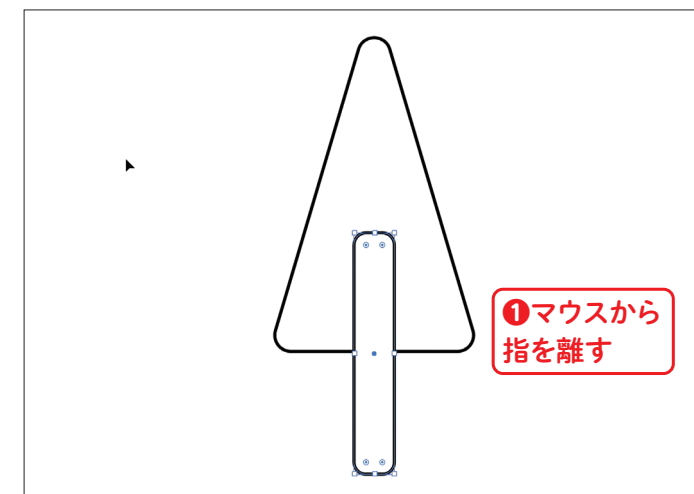


## 4 長方形を垂直方向に位置調整する

**shift** キーを押しながら長方形を上下方向にドラッグすると、垂直方向に限定して位置調整が行えます。ここでは、下方向にドラッグして①、位置を調整します。

## MEMO

**shift** キーを押しながら図形を移動させると、45度刻みで方向を限定することができます。



## 5 バランスのよいところで止める

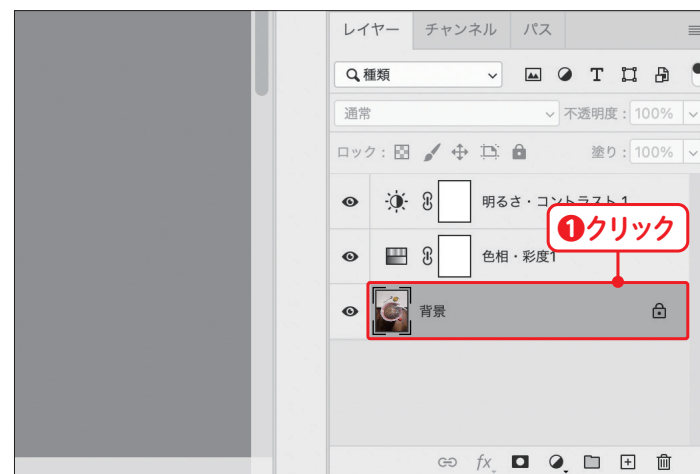
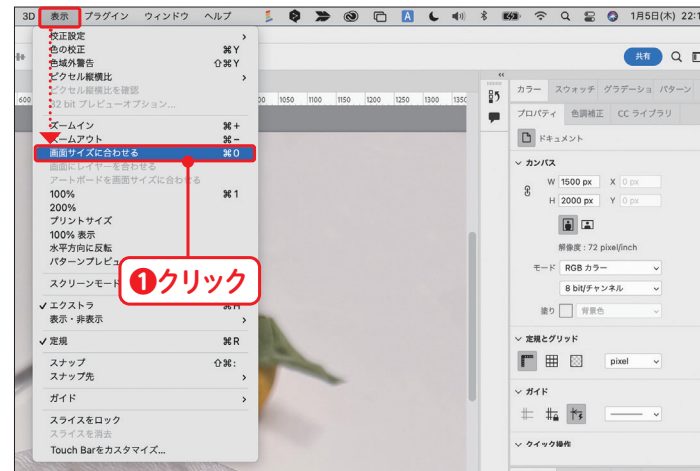
図を参考に、ちょうどよい位置に来たらマウスから指を離し①、最後に **shift** キーから指を離します。

## Lesson 03

# 写真の一部分を選択して保存しよう

ここでは、写真の中の一部分を選択した「選択範囲」を作成し、保存する方法を学びます。同じ範囲を繰り返し編集するときに便利です。

練習ファイル 0603a.psd    完成ファイル 0603b.psd

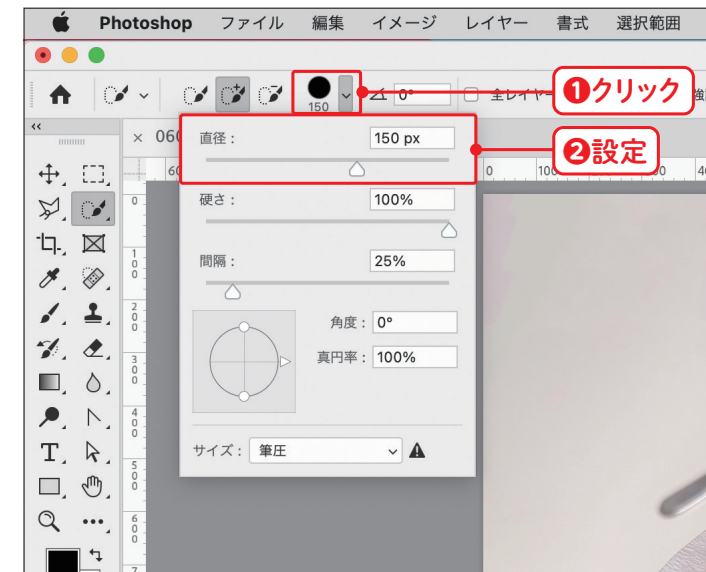
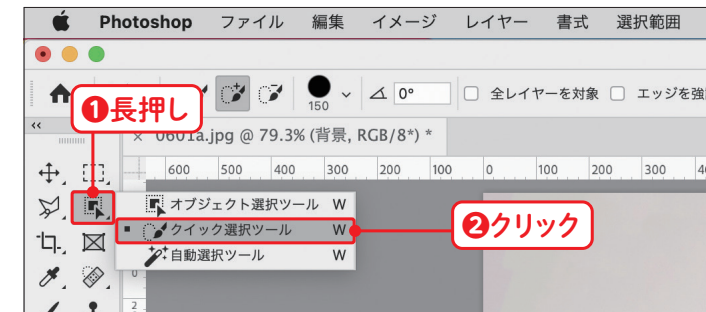


## 1 写真を全体表示にする

写真が拡大表示されている場合は、全体表示に戻します。[表示]メニュー→[画面サイズに合わせる]の順にクリックします①。

## 2 「背景」レイヤーをクリックする

写真全体が表示されました。作業を開始する前に、[調整レイヤー]ではなく[背景]レイヤーを選択しておく必要があります。[レイヤー]パネルの中の[背景]レイヤーをクリックします①。



## 3 「クイック選択ツール」をクリックする

[背景]レイヤーが選択されました。ツールパネルの[オブジェクト選択ツール]を長押しし①、表示されたメニューから[クイック選択ツール]をクリックします②。

## 4 ブラシの大きさを変更する

[クイック選択ツール]が選択されました。図を参考にオプションバーのブラシサイズを変更するボタンをクリックし①、ブラシの[直径]を「150」pxに設定します②。

### MEMO

[クイック選択ツール]は、Photoshopが自動的につながっている領域を判断して選択範囲を作成してくれるツールです。色味や明るさなどに左右されず、選択範囲をつなげてくれます。

## 5 台の上を少しずつ選択していく

ブラシの直径が設定できました。写真上部の白い台をスプーンや柚子も含めて選択します。少しずつドラッグしていくことで①、選択範囲をつなげることができます。

### MEMO

きれいな選択範囲を作成するためには、ブラシの直径が選みたい領域の外側にはみ出さないようにするのがコツです。

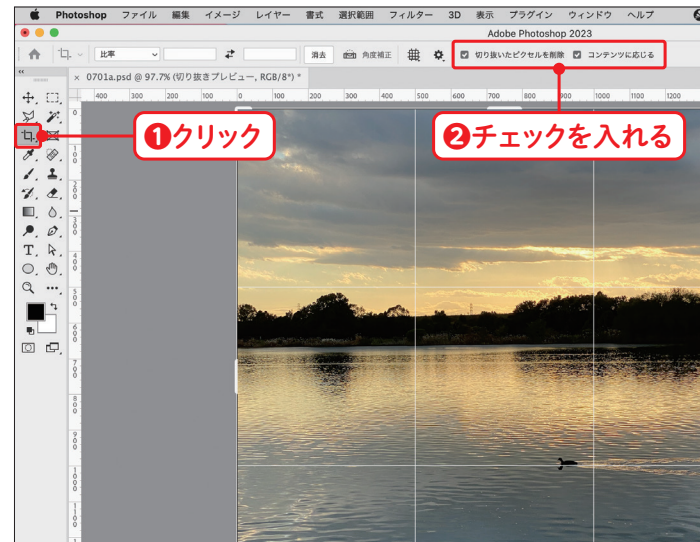


## Lesson 02

## 写真の足りない背景を補おう

ここでは、写真を横長の構図に変えるため、写真の左側を広げて背景を補っていきます。[切り抜きツール]の[コンテンツに応じる]機能を利用すると、Photoshopが自動的に画像を補ってくれます。

練習ファイル 0702a.psd 完成ファイル 0702b.psd

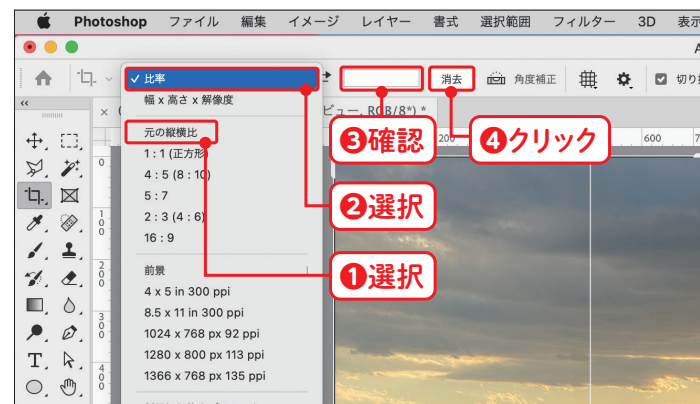


## 1 [コンテンツに応じる]のチェックを入れる

ツールパネルから[切り抜きツール] をクリックし①、オプションバーの[切り抜いたピクセルを削除]と[コンテンツに応じる]にチェックを入れます②。

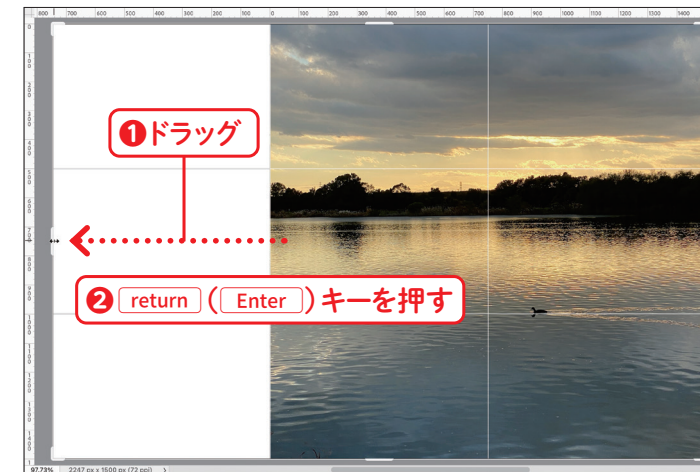
## MEMO

[コンテンツに応じる]にチェックを入れると、画像を拡大／回転する際に生じる隙間をPhotoshopが自動的に補ってくれます。



## 2 比率を変更する

オプションバー左上の[比率]をクリックしてドロップダウンメニューから[元の縦横比]を選択し①、もう一度ドロップダウンメニューを表示して[比率]を選択します②。右横の入力欄に数字が入っているか確認し③、入っている場合は[消去]をクリックして消します④。



## 3 左側の辺をドラッグする

切り抜き枠の左辺中央のハンドルを左方向にドラッグし①、横幅が約1.5倍になるように枠を広げます。ちょうどよいサイズになったらマウスから指を離し、**return** キー (Windowsでは**Enter** キー) を押して確定します②。



## 4 [スポット修復ブラシツール]を設定する

画面左側に風景の足りない部分が自動的に補われました。空に水面が混ざってしまうなど意図しない結果になった場合は、[スポット修復ブラシツール] をクリックし①、ブラシサイズを「250px」に設定して②、[コンテンツに応じる]をクリックします③。



## 5 問題のある部分をドラッグする

雲の中に水面が混ざってしまった部分を、右側の雲がある箇所から左方向にドラッグしていきます①。すると、Photoshopが自動的に画像を判別して、雲を補ってくれます。

## MEMO

意図しない結果になってしまったら、**command** キー (Windowsでは**Ctrl** キー) + **Z** キーで前の手順に戻ってもう一度やり直しましょう。

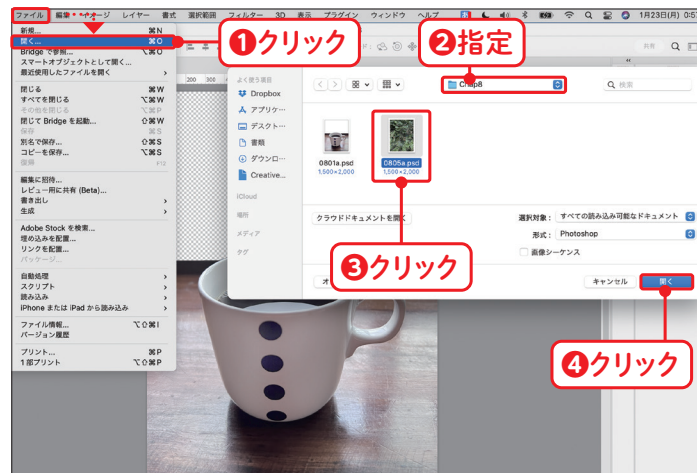


# Lesson 05

## 切り抜いた画像を別の写真に合成しよう

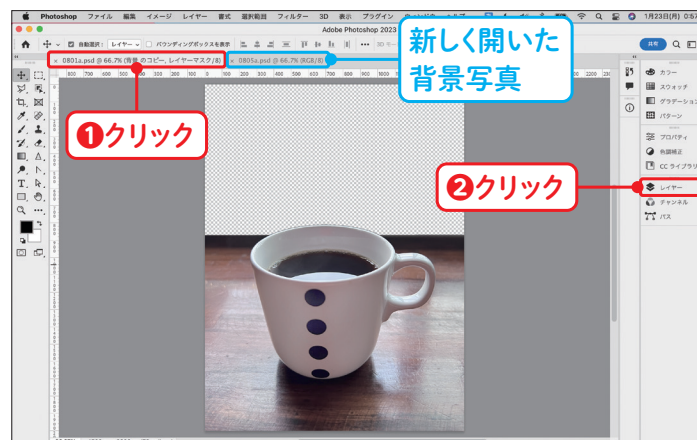
ここでは、Lesson 04で切り抜いた画像を背景写真に合成する方法を解説します。マグカップの画像がうまく切り抜けていない場合は、サンプルファイルの「0805a-mug.psd」を使用してください。

練習ファイル 0805a.psd 完成ファイル 0805b.psd




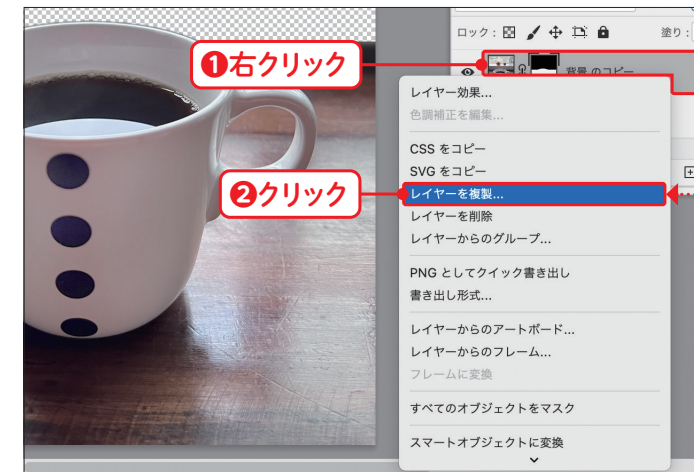
### 1 背景写真を開く

Lesson 04からの作業の続きです。背景になる写真を開きます。[ファイル]メニュー→[開く]の順にクリックし①、[Chap08]フォルダを指定し②、[0805a.psd]をクリックして③、[開く]ボタンをクリックします④。



### 2 背景写真を開く

背景写真「0805a.psd」が開きました。画面上部のファイル名のタブ（ここでは「0801a.psd」）をクリックして①、マグカップの画像を表示します。[レイヤー]パネルが閉じている場合はアイコンまたはタブをクリックして②、パネルを表示します。

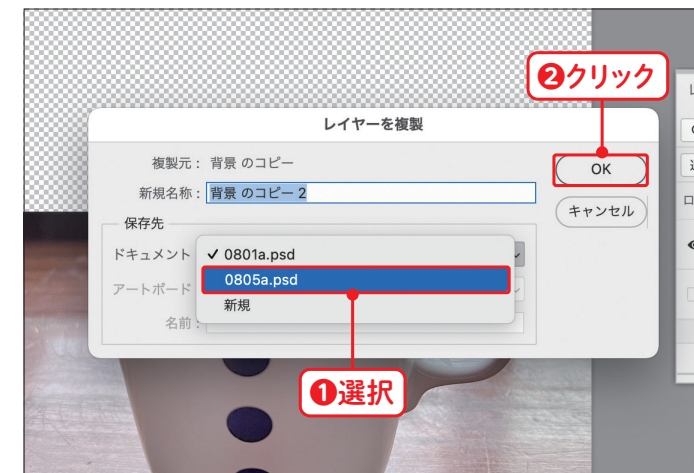


### 3 「背景のコピー」レイヤーを複製する

[レイヤー]パネルが開きました。[背景のコピー]レイヤーを右クリックし①、コンテキストメニューから[レイヤーを複製]をクリックします②。

#### MEMO

Macでは、右クリックのほか[control]キーを押しながらクリックすることでもコンテキストメニューが表示されます。

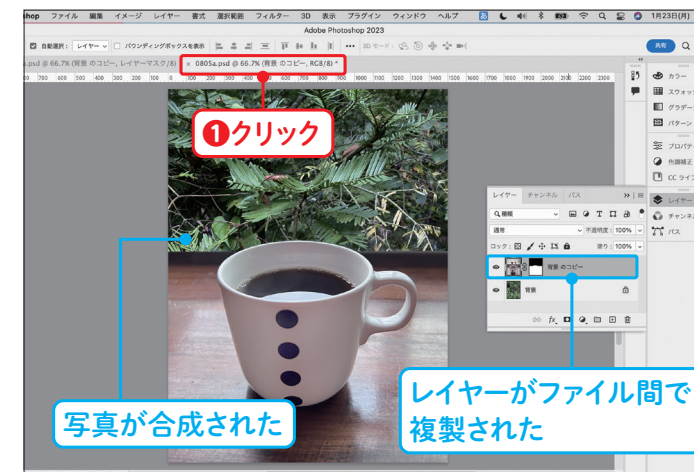


### 4 保存先を選択する

[レイヤーを複製]ダイアログボックスが表示されました。[保存先]の[ドキュメント]のドロップダウンメニューから[0805a.psd]（先ほど開いた背景写真）をクリックし①、[OK]ボタンをクリックします②。

### 5 背景写真にマグカップが合成された

画面上部のファイル名「0805a.psd」のタブをクリックします①。背景写真「0805a.psd」が表示され、切り抜かれたマグカップの写真が合成されていることがわかります。また、[レイヤー]パネルを見ると、レイヤーがファイル間で複製されています。



## Lesson 06


## メインの写真を配置しよう

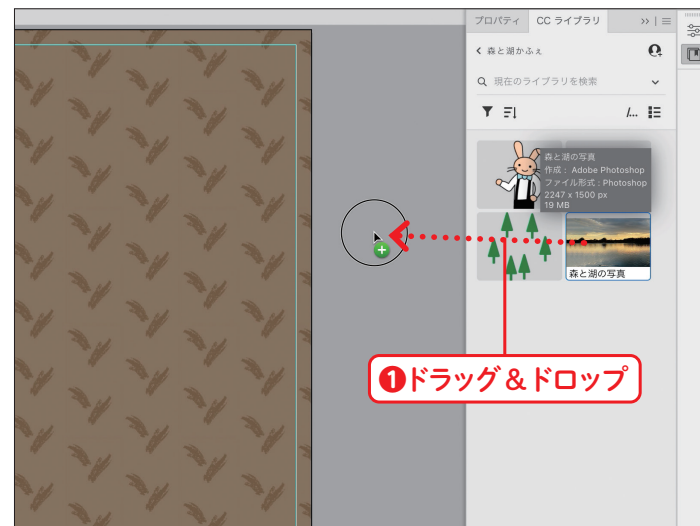
ここでは、カフェのメニューのメインとなる写真をレイアウト枠に配置します。Photoshopで編集して[CCライブラリ]に保存した写真を、Illustratorのドキュメントに配置する方法を解説します。

練習ファイル 0906a.ai 完成ファイル 0906b.ai



## 1 [CCライブラリ] パネルを表示する

画面右側にある[CCライブラリ]パネルのアイコン  またはタブをクリックしてパネルを表示し①、リストから[森と湖かふえ]をクリックします②。

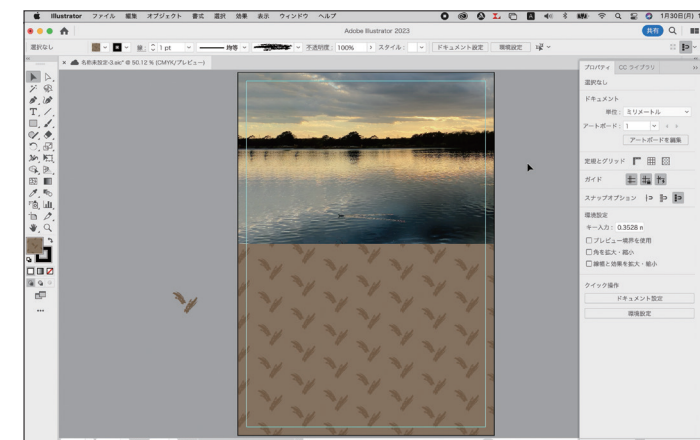
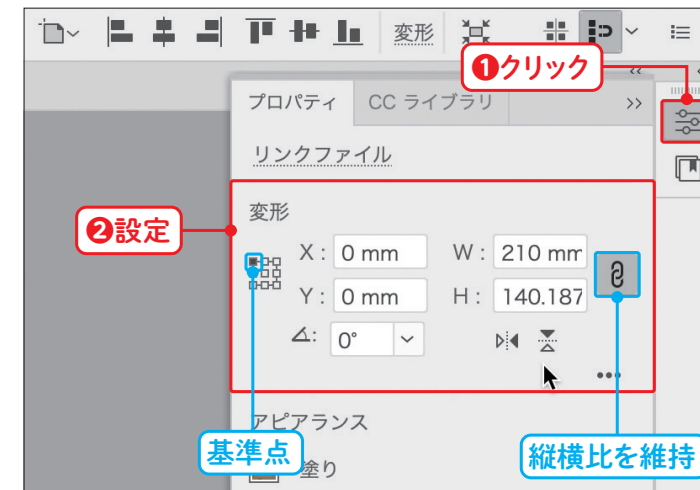
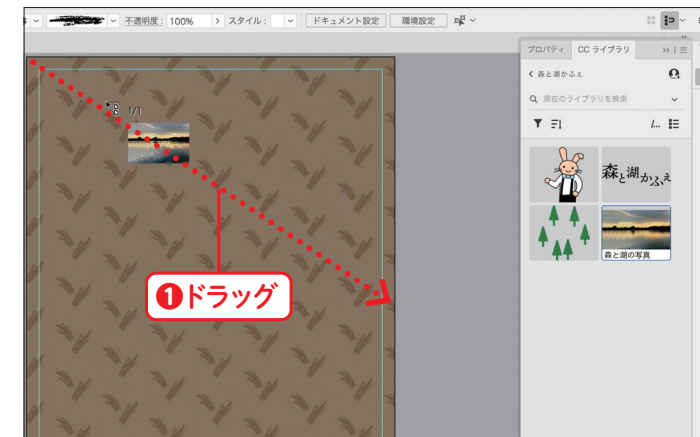


## 2 写真をドラッグ&amp;ドロップする

[森と湖かふえ]ライブラリが開きました。第7章で制作して登録しておいた「森と湖の写真」をパネルからアートボードにドラッグ&ドロップします①。

## MEMO

「森と湖の写真」を制作していない方は、練習ファイルの[Chap09]フォルダに[07-finished.psd]を用意してあるので、P.84を参考にしてPhotoshopから[CCライブラリ]に登録してください。




## 3 ドラッグして配置する


「森と湖の写真」のサムネイルが表示された状態で、アートボードの横幅いっぱいになるように、左上から右下にかけてドラッグします①。

## MEMO

次の手順で正確なサイズに調整するので、多少ずれていても問題ありません。

## 4 [プロパティ] パネルでサイズと位置を設定する

写真が配置されました。写真が選択されたまま[プロパティ]パネルのアイコン  またはタブをクリックしてパネルを表示し①、以下のように設定します②。

基準点	左上
X,Y	ともに0
縦横比を維持	アイコンの鎖がつながった状態  (縦横比を維持する設定)
W	210 (Hは自動で設定)

## 5 写真が正確なサイズと位置で配置された

メインの写真が正確なサイズと位置で配置されました。

## MEMO

この作例ではカラーモードCMYKで作成したIllustratorデータに、カラーモードRGBで作成したPhotoshopデータを配置しました。印刷用データ作成時には、PhotoshopのデータもCMYKで作成する必要があるのでご注意ください。